

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重心型児童発達支援放課後等デイサービス GREENHOUSE		
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日		2025年 10月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年 9月 10日		2025年 9月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	積極的に戸外活動を行っていること	季節に合わせたプログラムを設定し、1年365日固定化しないようにしている	さらに充実を図るために、子ども一人一人の発達や行動をアセスメントするためのケース会議や研修を実施して行きます
2	音楽療法を取り入れていること	活動を通して自身や自己肯定感を高めるために、音楽療法士による音楽療法を日々の活動に取り入れている	子どもたちの発達の芽をとらえ、ミーティングで話し合いながら、より子どもたちの主体性を伸ばせるよう努めます
3	保護者のニーズに沿った個別支援を行っていること	子どもの個々の発達課題や年齢に応じたアプローチを行っている	地域の活動に積極的に参加することで、子どもたちの社会性やコミュニケーション力の向上に努めます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもたちとの交流機会が不足していること	保育所や認定こども園、幼稚園とつながりがないこと	様々な環境で育っているお子さんが利用しているため、グリーンハウスに集まって活動に参加することが交流の機会となっている一面もあります。 より多くのお子さんと交流するため、放課後児童クラブや児童館とつながりを作っていきます。
2	保護者または兄弟同士での交流機会がないこと	保護者からの要望が少ないことや保護者会を開催する体制が整っていないこと	保護者会を開催する体制を整えていきます
3	事業所の活動内容を保護者や地域の方に深く知られていないこと	活動内容を発信しているSNSをフォローしてもらっていないこと 地域の保育所や認定こども園、幼稚園などに活動記録を渡していないこと	地域の保育所や認定こども園、幼稚園に活動記録を持って行くことや、町の掲示板に掲示してもらうことでより多くの地域の方に周知してもらう

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重心型児童発達支援放課後等デイサービス GREENHOUSE

公表日 2025年 10月 28日

利用児童数

7名

2025年 10月 28日

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					国の設備基準を守り、子どもの活動スペースを十分確保しています。ラックを使った児童の荷物管理を行う等、空間を活用しスペースを確保したり、車椅子を外に置くことでより多くのスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4					国の基準を守り加算要件を満たす人員配置を行っています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					お子さんが分かりやすい教材の配置や掲示物が過多・雑多にならないよう配慮しています。また、活動後には玩具を片づけるようにしています。手洗い場の下に台を設置するなど児童の障害特性や発達段階に応じた設備を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					活動が終了するたびに弱酸性次亜塩素酸水溶液を使用し、清潔さと心地よさの維持を心掛けています。活動スペースは1カ所ですが、多目的に使用できるようになっています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					個々の発達段階や感覚の特性、ニーズを職員が共通に理解し、専門性のある支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					当事業所の支援プログラムに則し、日々のプログラムを作成し、支援を行っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					保護者の意見を客観的に捉え5領域に組み込み、児童発達支援計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」に沿った支援内容を踏まえて、児童発達支援計画に反映、設定しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					児童発達支援に沿った活動プログラムを設定し、療育に携わる職員がいつでも確認できるようにしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					季節に合わせたプログラム（暑い時期はプラネタリウムやスポーツセンター、涼しい時期に公園への戸外活動）を設定し、1年365日固定化しないよう工夫しています。また、音楽療法など回数を重ねることで療育することを目的とする場合、意識的に継続してプログラムに入れることもあります。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1		1		2		保育所や認定こども園、幼稚園等とつながりを作っていき、地域のお祭りやイベントなどが開催されていたら積極的に参加するように努めます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について説明させていただいております。また不明な点は随時職員が説明するようにしています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行っています。また不明な点は随時職員が説明するようにしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		1			今のところ行う予定はないですが、保護者からの要望が増えたら速やかに開催できるように努めます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3				1	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3			1		定期的な面談を行うなど、家族の悩みにお答えできる体制を構築していくように努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					常に子どもの目線で考え、支援を行うようにしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		1	1		保護者会の開催や、当事業所主催のイベントを開催することで、保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設けるように努めます。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					相談や申し入れがあった場合は電話やSNS、対面に対応しております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					ことばと共にジェスチャーを使用し、児童や保護者との意思の疎通に十分配慮しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1		SNS（主にInstagram）で活動記録や通信を定期的に発信しております。業務に関する自己評価の結果につきましては堺市のHPIに掲載される予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					個人情報が記載された書類は鍵付きボックスにて保管しております。また、掲示物やSNSにて情報発信する場合はモザイクをかけるなど、個人情報が含まれないように十分留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1		各マニュアルを策定し、職員会議で共有しています。また、安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施しています。秘匿性の高いSNSや連絡帳を活用し、訓練内容の周知に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1		BCP（業務継続計画）に沿った訓練を行っています。また、訓練の結果を職員間で共有・検討し、BCPの見直しの参考にしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					安全計画に基づき、感染症や怪我等などについて注意喚起や事業所での取り組みについてSNSを通じ、周知しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1		事故等が発生した際は、速やかに連絡し、帰りの送迎の際にも事故発生時の状況等を詳細に伝えております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					お子さんと保護者の方に、これからも安心して楽しく通っていただけるような支援や運営に努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				毎週楽しみに行けてます	お子さんと保護者の方に、これからも安心して楽しく通っていただけるような支援や運営に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					今後も職員一同、保護者やお子さんに満足頂ける支援をご提供できるように努めてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	重心型児童発達支援放課後等デイサービス GREENHOUSE		公表日	2025年 10月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	ラックを使い児童の荷物管理を行う等、空間を活用しています	利用者さんの車椅子を置いたときに活動スペースが圧迫されること
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	利用人数が多くなる日(日曜日など) 医療的ケアの点数が増えた時は、臨時で看護職員を雇っています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	手洗い場の下に台を置いています 利用者の移乗を一人で行わずに2人で行うようにしています	保育室と脱衣所の間にスロープを設置すること
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	毎日清掃、消毒しています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	部屋の中をカーテンで区切ることで個々の空間を確保しています	引き続き、安心・安全な環境づくりを心掛けていきます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	3		月に一度、チームミーティングを行うことで、現状把握・課題の共有・業務の見直しを行っていきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3	秘匿性の高いSNSでやり取りすることで、保護者の皆さんの意向を把握しています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3		チームミーティングを月に一度、開催します
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	コンサル会社を通じて職員の配置等を相談しています	管理者以外の職員も、コンサル会社への相談をできるようにします
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	職員の資質向上のため、外部研修・内部研修を受ける機会を設けています 職員それぞれの専門性の研鑽を奨励しています	引き続き、職員の資質向上に努めます
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	2024年9月に支援プログラムを作成、SNSに公表、室内に掲示しています	HPでも公表するなど、保護者の皆さんが周知できるよう努めます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	1	3	保護者の意見を客観的に捉え5領域に組み込み、児童発達支援計画を作成しています	お子さんの成長速度に合わせた頻度でミーティングを開催することで、具体的な計画を作成できるよう努めます
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	3	お子さんに関わる職員の意見も反映し、計画を作成しています また、職員がいつでも計画を確認できるようにしています	計画を作成する前にミーティングを開催します
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	3	ミーティングでの情報交換を行うと共に、職員がいつでも児童発達支援計画を確認できる体制を整え、計画に沿ったプログラムを立案し、支援を行っています	引き続き、包括的な支援を努めます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3	障がいの程度が多岐にわたるため、インフォーマルなアセスメントを活用しています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1	3	「児童発達支援の提供すべき支援」に沿った支援内容に踏まえて、児童発達支援計画に反映、設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	3	日々の流れに沿って複数の職員がプログラムの立案に参画しています 年齢が多岐にわたるためマンツーマンでの支援を行えるよう配慮しています	プログラムの方向性やねらいを改めて確認し、非常勤職員も含めた多くの職員が参画することで多角的な視点を持ってプログラムを立案を行うよう努めます

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	3	季節に合わせたプログラム（暑い時期はプラネタリウムやスポーツセンター、涼しい時期に公園への戸外活動）を設定し、1年365日固定化しないよう工夫しています また、音楽療法など回数を重ねることで療育することを目的とする場合、意識的に継続してプログラムに入れることもあります	引き続き、お子さん一人ひとりの発育段階に応じたプログラムの立案に努めます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	1	3	一人ひとりの発達に応じ、個々の課題と集団適応・社会性の課題を計画に組み込み、支援しています	引き続き、個々と集団におけるニーズを踏まえた支援計画の作成と支援に努めます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	3		活動プログラムを作成した段階で、支援内容・役割分担・送迎時間を共有します
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3		翌日の午前中に利用児の様子や支援の振り返りを行い共有します
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	3	カルテや日誌、連絡帳を用いて、日々の支援を記録しています また、それらを振り返り支援の改善に活用しています	引き続き、個別記録を徹底し、それらを次のステップアップや改善につなげていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	3	出来ている人と出来ていない人がいます	出来ていない人については、相談支援員さんを通じて情報を収集し、計画の見直しの必要性を判断するよう努めます
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	2	児童発達支援管理責任者やお子さんの担当者など、適任者を選んで出席しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	緊急時の受け入れや利用児の様子、療育の必要性があるお子さんの支援方針の共有など他機関と連携や情報の共有をし、支援を行う体制を整えています	引き続き、関係機関との連携と事業所内での情報共有を円滑に行えるよう努めます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2	幼稚園や保育園など籍園との併行通園や移行に向けて利用時間や曜日の調整と支援を行っています 保護者や関係機関の移行をもとに連携を図り情報を共有し、支援方針について共有しています	※分からない1名
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		相談支援事業所を通じて情報の共有をし、支援方針について相互理解できるように努めています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	地域の児童発達支援センターから定期的に訪問してもらい、スーパーバイズや助言を受ける機会を設けています	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	近所の公園へ遊びに行ったときは、事業所内の児童で遊びを完結するのではなく、なるべくその場にいる子どもたちと遊び、交流しています	保育所や認定こども園、幼稚園等とつながりを作っていき、地域のお祭りやイベントなど開催されていたら積極的に参加するよう努めます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	連絡アプリや日々の送迎の際に、子どもの状況や課題について話をする機会を設けています	話しやすい相談体制を整え、必要に応じて個別に相談の時間を設けるように努めます
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		今のところ行う予定はないですが、保護者からの要望が増えたら速やかに開催できるように努めます	

保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時に説明させていただいております 不明な点は随時職員が説明するようにしています	※分からない2名
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		お子さんや保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています 設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています	※分からない2名
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2		職員から支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ています	※分からない2名
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1	必要に応じて適宜行っています	定期的に面談を行うなど、家族の悩みにお答えできる体制を構築していくように努めます ※分からない1名
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		保護者会の開催や、当事業所主催のイベントを開催することで、保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設けるように努めます
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	1	相談や申し入れがあった場合は電話やSNS、対面を通じて迅速かつ適切に対応しています	※分からない1名
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		SNS（主にInstagram）で活動記録や通信を定期的に発信しております また、活動概要もSNSで発信しております	保護者さまに周知してもらえるように努めます ※分からない1名
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報記載された書類は鍵付きボックスにて保管しております また、掲示物やSNSにて情報発信する場合はモザイクをかけるなど、個人情報が含まれないように十分留意しております	引き続き、個人情報の取扱いには十分留意します。 ※分からない2名
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		ことばと共にジェスチャーを使用し、児童や保護者との意思の疎通に十分配慮しております	視覚的補助教材を使用するなど、利用児や保護者に合わせた方法を模索するよう努めます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	各マニュアルを策定し、職員会議で共有しています また、安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施しています	秘匿性の高いSNSや連絡帳を通じ、研修や訓練の内容を周知していくよう努めます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPに沿った訓練を行っています また、訓練の結果を職員間で共有・検討し、BCPの見直しの参考にしています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		契約時に健康状況を票に記入していただき確認しています また、必要に応じて聴き取りを行っています	引き続き、緊急時に適切に対応できるように、定期的に利用者の既往歴や服薬についての情報共有を行うように努めます
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		おやつ提供や買い物体験の際は、医師の指示書に基づき、食品のアレルギーの確認を行っています	引き続き、お子さんのアレルギーに配慮し、おやつ提供や買い物体験を行っていきます ※分からない2名
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1		安全計画を作成し、安全計画に沿った研修や訓練を行い、必要に応じて適切な措置を講じています	引き続き、研修や訓練を行い、定期的に安全計画の見直しも行うよう努めます ※分からない3名
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		安全計画に基づき、感染症や怪我などについて注意喚起や事業所での取り組みについてSNSを通じ、周知しています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	3	危険な事例があった場合、ヒヤリハットに記載しています	些細な出来事でもヒヤリハットに記載し、ミーティングを通じ、職員間で共有、再発防止策の検討を必ず行います

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	内部研修を行い虐待防止に対する意欲・意識を向上しています	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	身体拘束適正化委員会を設け、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています	